

札幌市介護支援専門員連絡協議会 西区支部定例研修会 定例研修会 (8/25)

「精神科医療を必要とする方々との関わり方や支援方法について」研修後アンケートの質問への回答

Q1. 精神科どこの病院とやり取りがあるのか

A1. 札幌市内全単科精神科病院、札幌近郊の単科精神科病院も全部ではありませんが連携を取っており、外来・クリニック等での対応で困難となっているケースについては、Dr to Dr での依頼として紹介いただくケースもあります。

Q2. 札幌こころのセンターの具体的な相談方法や向かっていくところがどんなところなのか知りたい

A2. 心の健康に関する相談に平日の日中、電話で対応していただけますが、かかりつけの精神科病院がある場合はそちらに問い合わせることになっています。
精神症状に合わせてどこの精神科を受診したらよいかなどの適切な関係機関や相談機関の紹介、ご本人・ご家族が精神科受診を拒否しているときの対応方法などのアドバイスが受けられます。
インターネットでも連絡先なども紹介されておりますのでご参照ください。

Q3. わからないワードがあり意味を知りたい

A3.

- ・「基幹病院」→3次救急もしくはそれに準じる機能を持ち、一部の特殊な専門医療を除く高度な急性期医療と手厚い看護を提供する病院。地域の医療関連の中核を担う病院
- ・「リエゾン」→フランス語で「連携・橋渡し・つなぐ」を意味する言葉です
- ・精神科リエゾンチーム
→身体疾患で入院中の患者さんが何らかの精神心理面の問題を抱えた場合に精神科医療と身体医療をつなぎ、担当各科の医師や看護師と連携しながら支援を行うチームをさします。
単科精神科病院での活動ではなく、総合病院など精神科以外の診療科をもつ医療機関内において、一般病棟等に入院される患者様を対象としています。
チームの構成メンバーは各医療機関によって異なりますが、北海道医療センターでは精神科医師、精神科認定看護師、社会保険福祉士、臨床心理士でチームを組んでいます。
- ・認定看護師→特定の看護分野において熟達した高度な知識・看護技術を持っている看護師として、認定資格を取得した看護師です。

Q4. 職員のメンタルヘルスは具体的にどのようなことをするのか

A4. 精神面に不調を抱えた職員に対して当該職場長だけでの対応に限定せず、面談を行い、必要な対応を検討・調整します。医療機関の体制によっては、臨床心理士がカウンセリングルームを担っているところもあります。

Q5. 精神科認定看護師へのつなぎ方、訪問看護事業所にも配置されているか

A5. 訪問看護事業所内に精神科認定看護師がいる事業所もあります。

Q6. 主介護者が精神科に通院しており昨年秋から不安定になっている。ある特定の介護スタッフに対して意味不明な言動や攻撃的な言動がある。幸い利用者様に対する訪問診療が入っていたのでその医師に相談しながら対応しているが、訪問診療が入っていない場合はどうしたらよいか。また職員のメンタルヘルスについて、相談窓口はあるか。

A6. 主介護者の通院している精神科病院に相談するのがよいと思われます。また、職員のメンタルヘルスについてはその職場がどのような対応しているかによると思います。職場でストレスチェックをしていたり、メンタルヘルスに対して窓口を設置し対応していたりする職場もあります。直接、職場内で上司への相談が難しい場合は「こころのケア」で検索すると様々な事業など紹介されています。実際にセルフチェックするものを紹介している場合もあるので、まずは下調べしてみることをお勧めします。

Q7. 精神科によっても機能分化されており、どこにお願いしてよいかわからない。紹介してくれるネットワークがあればよいと思う

A7. 私たちが紹介できるものでもありませんし、医療機関によって対応できるケースと困難なケースなどもありますので、まずは「札幌こころのケアセンター」窓口にご相談してみることをお勧めします。

Q8. 研修内で「エピソードのある抑うつ」に対して原因を除去するかかわりとあったが具体的にはどのような関わりか

A8. 例えばですが、ご家族間のトラブルで抑うつになった場合、問題解決を先送りにしたり、体調回復まで問題に関わらないようにしたり、対人関係での距離の取り方や場面に応じた対応方法などを検討します。このように何かエピソードがある抑うつに対して、そのエピソードが対応可能なものであれば原因の除去を検討します。区の保険師と家族と協力しながら対応するしかないですが、暴力行為に発展する可能性がある場合には警察とも連携を図り調整することをご検討ください。

Q9.「相談の具体的な仕方を教えてほしい」「区への相談は具体的にどのように行くとよいのか」「自身では認めない、明らかに精神疾患があるような利用者に対して精神科・メンタルクリニック、心療内科へのつなげ方が難しい。具体的なアプローチ方法についてアドバイスをいただきたい」「ケアマネとしては受診をすすめたいが、本人やご家族が必要を感じておらず対応に苦慮するケース」など、どう対応したらよいか。

A9. ケースバイケースなものなので回答は難しく、もし可能であれば具体的な事例検討会として、研修を企画するとよいかとも思います。

Q10.「精神科と一般診療の連携の悪さや困難さ」はどうしたらよいか。

A10. Q8 での回答にも準ずるところですが、「精神科だから」「一般診療科だから」という明確な枠組みや特別な方法はなく、当該施設が連携している医療機関として指定病院がある場合もありますので、一度ご確認ください。そのケースを通して、周囲に理解者を増やしていく、ということが必要になると思います。

身体合併症医療を担っている当院であっても、他診療科の理解を得るには時間がかかりましたし、他施設等との連絡・調整となればもっと時間がかかることだと思います。ただ、理解者が増えることで対応のしやすさは変わってきます。地道な対応になるかもしれませんが、ぜひみなさんから、今後の精神科身体合併症医療の発展にお力添えいただけると幸いです。

札幌こころのセンターでも様々悩みによる相談窓口が設置されていますので、一部参考までに紹介します。

相談機関・窓口一覧

- [こころの健康・死にたい気持ちに関する相談](#)
- [自死遺族の方の相談](#)
- [ひきこもりに関する相談](#)
- [依存症全般に関する相談](#)
- [アルコール依存症に関する相談](#)
- [ギャンブル依存症に関する相談](#)
- [薬物依存症に関する相談](#)
- [犯罪被害に関する相談](#)
- [障がい者の福祉に関する相談](#)
- [医療施設に関する問い合わせや相談](#)
- [その他の生活に関する相談](#)